

日時：2月29日(金)午後6時～8時
(開場午後5時45分)

場所：sapporo55 ビル1階インナーガーデン
(紀伊國屋書店札幌本店正面入り口前)

ゲスト：當瀬規嗣
(札幌医科大学生理学第一講座教授)

定員：約100名

参加費：無料(申し込み不要)
当日は直接開場にお越し下さい

主催：札幌医科大学
現代GP「双方向型医療コミュニケーション教育の展開」事務局

協力：北海道大学科学技術コミュニケーション
養成ユニット (CoSTEP)

第1回 メディカル・カフェ

ドキドキ

～心臓の
動くしくみ～

のひみつ

私たちは、疲れると休みをとります。しかし、私たちが疲れて休んでいるときにも、私たちの「心臓」は、休むことなく規則正しく「ドキドキ」と動いています。

私たちが生まれた瞬間から死ぬときまで休みなく動き続けているのです。なぜ、心臓は疲れませんか？ 心臓が規則正しく動くしくみは？

第一回の「メディカル・カフェ札幌」では、ゲストの當瀬規嗣さんとともに、「心臓がうごくしくみ」を知り、自分のからだに感動したり、驚いたりしてください。

ゲストのプロフィール



當瀬規嗣（とうせのりつぐ）さん

1959年北海道生まれ。北海道大学医学部卒、同大大学院修了。医学博士。北海道大学医学部薬理学講座助手などを経て、1998年より現職。専門は「心筋のイオンチャンネル」
趣味は鉄道模型（専門誌で入賞）。「松原みき」を聞きながらシングル・モルトやバーボンを飲む。

生理学の醍醐味は「自分のからだに感動する」ことである

- 著書等
- ・「よくわかる生理学の基本としくみ」
 図解入門メディカルサイエンスシリーズ 秀和システム
 - ・北海道新聞社連載コラム： 生きる「しくみ」
 - ・日本テレビ：世界一受けたい授業（2006年11月25日放映）

「メディカル・カフェ札幌」は、医療・医学・健康情報などに関して、飲み物を片手に語り、理解を深める市民参加型のイベントです。また、札幌医科大学・北海道医療大学の将来の北海道の医療を担う学生達が、医療の第一歩である「コミュニケーション」を学ぶ「場」でもあります。

本イベントは、文部科学省による現代的教育ニーズ取組支援プログラムに採択された「双方向型医療コミュニケーション教育の展開」の一環として開催されます。

この取組は、北海道医療大学と札幌医科大学の共同事業でもあり、両大学の連携によるイベントの一つとして定期的で開催される予定です。

主催：現代GP「双方向型医療コミュニケーション教育の展開」事務局
札幌市中央区南1条西17丁目 札幌医科大学

http://web.sapmed.ac.jp/med_cafe/

011-611-2111(内線2206)